



<http://www.bike-joy.com/YSK.htm>

やましろサザンセットCFC(仮称)

事務局 (設置予定)

岩国市岩国2丁目7-36

ひろなかサイクル内

やましろ杣道研究会

準備事務局

岩国市通津 1951-10

いわくに研究会内

とれとれ岩柳

企画デスク

岩国市藤生町 1-30-6

コースクリエイティブ山口内

Tel.090-5573-9372

Fax.03-6368-4661

e-mail

bikejoyq@mbr.nifty.com



OBSIDIAN HUNT

岩国かるたドライブ

検索



OBSIDIAN ROAD

とれとれ岩柳

検索

(案)

(注)ここで言う「VTT」は、フランス語のMTBにあたる全地形型の自転車「Vélo tout-terrain」を、地球の全てを遊ぶ自転車「Vélo pour tout jouer sur terre」と拡大解釈したもの。

VTT企画は地域を救う！

やましろサザンセットCFC(仮称)・設立に当たって

2022/04/05

謹啓 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また未曾有の災禍にありましても、地域の安定や発展に尽力されていると拝察申し上げます。

その地域の安定や発展について、副題にもある「VTT企画が地域を救う！(注)」として、自転車目線での地域資源の再発見や、利活用方法の提言をし、さらに等身大の企画を実践するために、「やましろサザンセットCFC(仮称)」を新たに立ち上げたいと考えています。

やましろエリアに着目したのは、2009年GWに「第16回レイド・オブシディアン」を、出雲集合～岩国解散で実施した際、津和野街道星坂や、山代街道府谷、そして弥山道にルートを設定し、その可能性の高さに触れたからです。

レイド・オブシディアンは、地図を読み、山道を辿るMTBラリーレイドで、遊び好きのフランス人が考えたものを日本流にアレンジして「とれとれバイク」として、各地の有志が実施しており、その全日本選手権的な大会です。

また「とれとれバイク」をさらにアレンジした「THT26◆自転車さんぽ」を、さらにさらにアレンジしたのが「ゲーム旅◆岩国かるたドライブ」で、地域の福地化(安定や発展)を目指す、いわくに研究会の最近のメイン活動となっています。

コロナ禍で急ブレーキのインバウンド需要。その中のサイクリング企画は、震災復興需要から始まった部分もありますが、広域を走るサイクリング企画は一般道の目的外使用問題を抱えており、逆に一定のエリアで楽しめるMTB企画は山道走行問題を抱えています。

その「サイクリングの曖昧な法的根拠」が、都市と地方の自転車利活用の温度差を生んでいるようで、自転車目線での地域資源再発見や課題解決のヒント、特に欧米で成果を上げているレースやツーリングを問わないMTB企画に触手が伸びていないのは残念です。

日本最大級でMTBイベント最後の砦「シマノバイカーズフェスティバル」、旧市と郡部を巡る合併記念の「ツール・ド・下関」、震災復興支援で県境を跨ぐ掟破りの「サイクルエイドジャパン」、明治維新150周年記念企画「サイクル県やまぐちProject」。

目的や性格の異なる企画だが、レースメニューにツーリングメニューのトッピングを、地元産品を使ったエイドステーションを、大手広告代理店も匙を投げたコースに対案を、サイクルルートの試走後に後継企画を、それぞれ提案し、一定の成果を上げる。しかし。。

目的外使用や山道走行が「日本の自転車利活用の実情」が壁となり、日常利用とスポーツ利用の間に見えない溝も存在している。その壁を崩し、溝を埋める「等身大企画」を、徒歩移動で培った江戸文化に思いを馳せた縄文・杣道再生計画として、未来に向け提案したい。

黒曜石が伝播した“杣道”が日本の街道の原点と考える。和紙の道とも言われる“山代街道”の東端の秋掛は、安芸の国に駆け入ると言う意味。また山上集落を繋ぐ山道を母親の世話と教諭の職の両立のため通い続けた逸話。周知の事実と新たな知見。地名や道に歴史がある。

つきましては、忘れ去られようとしている“旧街道”や“杣道”を切り口とした地域資源の活用を、愛好者と地元が連携して「等身大企画」を実践する組織を立ち上げるに当たり、当会の設立目的や活動指針にご理解を頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。次第です。

謹白

令和四年*月吉日

やましろサザンセット・サイクルフレンドクラブ(仮称)発起人一同



西黒沢の山中にある遠距離徒歩通勤教諭の逸話の記念碑

やましろサザンセットCF C (仮称)・団体概要(案)

●設立目的／日常利用からスポーツ利用まで幅広く活用されている「自転車」は、走行空間の整備、利活用方法の提案、乗車や操作や心得の習得も欠かせません。しかし自転車利活用環境の課題は、昭和から平成・令和と時代が進んだ今も『日本の実情』として変わらず潜在し、「サイクリング」の法的根拠も曖昧なままです。それは一般道の自由使用と目的外使用や、山道走行の自然公園法や安全維持管理の問題になります。

そのような背景の中、自転車活用推進法も施行され、地域起し企画導入への追い風となっています。しかし一方で、ハード・インフラ・ソフト・ハートの4要素に渡る「日本の実情」で、欧米に比べ、自転車文化の定着にはまだまだ時間を要すると思われまます。

その欧米の自転車文化の一端に、旅と競技の性格を併せ持つジャンルがあります。ここでは「ゲーム旅」としますが、「走り出したら自己責任」や「時には参加者、時にはスタッフ」という、大人の遊びとしての“サイクリング”の基本理念を前面に押し出したものです。

そのサイクリングの基本理念に、「自転車目線での地域資源再発見」、「日常と旅の架け橋」、そして「情報発信と人材交流」を加え、自転車愛好家+サイクルショップ+地元関係者が三位一体となって福地化を行う「サイクリングネットワーク再構築」を、当会は目指します。

●活動指針案／目的達成のため、下記の役員や組織を有し、必要に応じて、情報発信や等身大企画事業等の活動を段階的に進めていきます。

◎役員／会長、副会長、担当理事、会計、顧問

◎事務局／定例会、総会、助成金申請等を担当

◎点の企画局／情報発信、人材交流、地域資源再発見等を担当

◎線の企画局／街道・山道・町の道で等身大企画の実験実施等を担当

◎面の企画局／関係各所との連携等を担当

⇒大人のサイクリングは、地図読みが基本と考え、等身大企画としての「ゲーム旅」は、街道では「ブルベ」、山道では「MTBラリーレイド」、町の道では「トレジャーハント」と、参加者を絞る前提になりますが、多様なニーズに合わせた展開が可能です。そのためそれぞれの“道”に於いて、下記のように段階的な展開を検討し、実験企画の実践を試みます。特に日本流にアレンジしたMTBラリーレイドは、自転車全般のコア企画と考えています。

【街道】ロングライド愛好家が対象だが、日本では馴染みの薄い、組織で遊ぶ認定システム“ブルベ”の意味の浸透が必要なため、山口ブルベの組織化を検討した上で、実験企画を組み立てる。 ⇒ **山口ブルベ研究会**

【山道】MTBライダーが対象で一定の理解を持っているが、実際の山道は、調査、道普請、利活用と、通年で地元との連携が必要のため、大雑把な道普請で実施可能な上級向け企画から始める。 ⇒ **やましろ山道研究会**

【町の道】日常利用者も対象にするため、実績のある「THT26◆自転車さんぽ」を直ぐにでも実験実施可能だが、継続性を考えた場合、新スタッフのスカウティング企画から始める必要がある。 ⇒ **トレジャーハント山口**

●発起人／協力ショップ（候補、予定含む）

ヒロナカサイクル、広中輪業、アノサイクル、ツノサイクル、セオサイクル山口、サイクルラボヤマダ、サイクルセンターマツナガ、じてん車いしい、ラビットストリート、サイクリング・サロン・ヒロシゲ宇部店、自転車館びーくる、ル・モンド・ヴェロ、防府市サイクリングターミナル、ワンツーサイクル、サイクルピット240、交流&bikeハウス・ちゅう吉、サイクルピット240海峡店、サイクリング・サロン・ヒロシゲ、日出男商会、ムラナカサイクル、三福輪業川下店、サイクルショップ・やまだ、サイクルショップ・ナガチャリ、三輪輪業、シクロテックイチカワ、スポーツサイクル・ウエキ、CLICK、GRUMPY、内富++、志賀++、棟久++、松岡++、井上++、石丸++

やましろ杣道研究会／V T T企画が地域を救う！

2022/04/05 Course Create

日常利用からスポーツ利用まで、モータリゼーションや電動化やデジタル化が進む、過去も今も未来も、幅ひろく利活用が続く自転車。また観光立国ジャパンのインバウンド需要も見越した「自転車活用推進法」が成立したのも記憶に新しい。しかし一方で、便利でエコなシェアサイクルの伸び悩みや、電動アシストの子乗せ自転車の走行空間確保問題等もあり、その遠因である、インフラやマナーが自転車ブームの中で置き去りにされているのも事実・・・。

やはりその中で、世界的に人気の高いMTBが、日本ではあまり支持されていない。一般道の目的外使用問題以上に、山道走行問題は、根が深いというより、根が複雑に絡まっている。

それでも広範囲に走るロードバイクに比べ、ある程度の範囲で楽しめるマウンテンバイクは、地元の理解が得られれば、人気アクティビティになり得る。また、山道以外の一般道も走るため、自転車全般コア企画として捉えることも出来、さらに、ツーリングからレースまでカバーすることで様々な相乗効果を生むことは、ヨーロッパやニュージーランドやアメリカの山岳リゾートで証明されている。

だからと言って、欧米の流儀を日本にそのまま持ち込むのは無理があるため、かなりのアレンジが必要。その背景やノウハウを、昭和・平成・令和と追いかけてきた、コースクリエイトでは、山代エリアにその可能性を2009年には見出し、地元や行政にもアプローチをしているのだが・・・。

必要なのは、道普請、企画運営、そしてセキュリティ。

確かに山代街道を始め、複数の旧街道が交差し、さらに山上集落を結ぶ山道もある。でも忘れ去られた道は、復活作業と維持管理作業が必須であり、適切な人数での、適切な利用と、地元にも歓迎されつつ安全管理にも注意を払うには、それなりの投資が必要と考える。

2018年より約4シーズン、季節の影響を加味した山代エリアで山道利用の可能性を探り、出来ること、出来ないことを見極めつつ、秋口に道普請を行って、秋～春シーズンを楽しむ仕組みを構築できれば、事業化が可能との考えに至り、その延長線上に以下の企画を守備範囲に出来ればと思います。

【街道】 ⇒ **山口ブルベ研究会**・・・自転車愛好者スカウティング企画

◎アイランドハイランドブルベ(瀬戸内海と山代エリアを周回するロングライド) / ◎コマ地図ブルベ(サイクルステーション発着のセルフ企画) / ◎六日市TN特別解放ブルベ(年に一回、岩日北未成線六日市トンネルを利用した旗艦企画) / ◎さんいん1300(奈良県と山口県の関係性に着目したPBPリスペクト企画) / ◎スペシャルサイクリング新岩国～長門(往路は公募ルート、復路は美祢線+新幹線、長門市での交歓会がキーワード) / 他

【山道】 ⇒ **やましろ杣道研究会**・・・自転車全般コア企画

◎やましろMTBツアーズ(2016年より実施のガイドツアー) / ◎やましろMTBラリー(九州レイドシリーズの岩国大会) / ◎オレンジトロフィー(ファミリー向けのミニレース) / ◎24h西日本(MTB24時間耐久レース実施の可能性を探る) / ◎とれとれタイムジャッジ(欧米で人気上昇中のフリーライドの日本版イベント化) / ◎レイド・オブシディアン誘致(5年に一回のMTBラリーレイド全日本的大会の誘致) / ◎らん清流ジオツアーズ(選べる週末ツアー具体化)

【町の道】 ⇒ **トレジャーハント山口**・・・日常利用とスポーツ利用の架け橋企画

◎萌黄RD+◎紅葉RD+◎150トーナメント+◎学習トレジャーハント(THT26◆自転車さんぽの定期開催やトーナメント企画や応用編) / ※廃校ベース防長かるた探検隊 [◎8月: 亀山ベース「阿東自転車さんぽ」、◎11月: 八代ベース「コマ地図ブルベ美祢長門」、◎2月: 河山ベース「ゲーム旅錦川車窓風景」] / ※錦川サイクリング特区: 電動アシスト自転車の「バッテリー問題」や「通勤通学ロングタイムレンタル」、そして市民の足、観光客の足(パーソナルモビリティ)を自転車目線で考える。 / ※サイクリング・フォア・オール(UCIの究極の自転車企画の誘致を検討)

Bike is Good!

<http://www.bike-joy.com/b.htm> 自転車遊び利用促進実証実験
<http://www.bike-joy.com/TUK.htm>

石丸英明 コースクリエイト山口

〒740-0036 山口県岩国市藤生町1-30-6

TEL 090-3170-6658

PC・FAX 03-6368-4661

Eメール bikejoyq@mbr.nifty.com

コースクリエイト神奈川 〒249-0008 神奈川県逗子市小坪 3-5-7(転遊研内)

やましる 杉道研究会

VTT企画が 地域を救う!

・・・やましる杉道研究会への道のり/From「遊 i n g A T B '89」・・・

1989年	*遊 i n g A T B '89 のディレクターとして「 スポーツプランニングハウス/SPH 」に入社/※自転車パーツメーカーのシマノが、日本の現状を憂いてキャンペーン企画を行う。
90~92	*成美堂出版マウンテンバイクM o o kシリーズ編集長 (カリフォルニア取材/エジプト取材/コルシカ取材/国内イベント取材) ※93年春 SPH 退社
1993年	*第一回MTB24 時間耐久レースを世界で2ヶ国目の開催 ※オリジナル企画
1994年	*第一回レイド・オブシディアン実施 ※オリジナル企画
1995年	*日本初のブルベ「ルート・エヌ」を実施 ※オリジナル企画
1996年 ~ 2003年	*友人と スターバイクジャパン を立ち上げ、計測システムの開発を行い、メーカーやショップ主催のMTB 耐久レースの運営を行う。(ミズタニカップ/マイクスカップ/他) *サイクルプロショップの広報誌の編集や、自転車雑誌に連載ページ持つ。 *パリ~ブレスト~パリの視察/カナダ600kmブルベの視察/日本初の公式ブルベの開催 *シマノバイカーズフェスティバルのツーリングメニューを「 Course Create 」として担当 *公式ブルベを通年開催し、2003年のPBPへ、日本からの初参加を果たす。
2004年 ~ 2010年	*関東から山口へUターン/ コースクリエイト山口 を名乗る *友人の助言で転遊研を立ち上げ、日本の実情に合った自転車遊び「THT26◆◆自転車さんぽ」を仲間と創り出す。 *下関サイクルマラソンの立ち上げを担当 * SPH の外部スタッフとして、各地の地域起しイベントの企画運営を行う。 * ユリシス の契約スタッフとして、ダイワフィッシングイベントのディレクターを行う。 *THT26を応用して、萌黄&紅葉のラリーデイを各地で行い、その流れで、自転車街づくり企画にも呼ばれる。(広島市南区/福岡県福津市/奈良県奈良市/島根県吉賀町/長野県諏訪市/他多数) *有志と「 いわくに研究会 」を立ち上げる。
2011年 ~ 2018年	*バイコロジーシンポジウム奈良大会でTHT26を公式行事として行うが、その準備中に東日本大震災の揺れを感じる。 *自転車協会主催「サイクルエイドジャパン」のコースディレクターに就任。 *NPO 法人 日本自転車環境整備機構 の理事に就任。 *エロイカバイクのコースディレクターを担当。 *サイクル県やまぐちのコースマーキング用の実走調査を担当。 *明治維新150周年応援企画「毛利チャレンジ」の、アイドリング編から集大成編を実施。(自転車さんぽ◇時めぐり萩、いわくにバス◇くるっと岩国、かるたドライブ&自転車さんぽ同時開催、防長かるたドライブ/紙・米・塩、毛利チャレンジ2018/田布施、美祢、長門、萩、防府、下関、岩国)